

公演延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、以下の公演につきましては延期させていただきます。

5/23 (日) 15:00
オーケストラを聴こう **ベートーヴェン：交響曲全集Ⅲ**

2021 1/17 (日) 15:00 に延期
※当初出演を予定していた三浦文彰氏(ヴァイオリン)に代わり、徳永二男氏が出演します。
曲目に変更はありません。

曲目
L.v.ベートーヴェン：ロマンズ第1番 ト長調 op.40
第2番 ヘ長調 op.50
交響曲第4番 変ロ長調 op.60
第7番 イ長調 op.92



6/11 (木) 11:30
ランチタイム・コンサート
工藤重典 & 福田進一 フルートとギターの饗宴
10/6 (火) 11:30 に延期
※出演者、曲目に変更はありません。

曲目
F.シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821 (福田進一 編)
M.ラヴェル：ハバネラ形式の小品
J.イベール：間奏曲
野平一郎 & 野平多美 編：日本の歌(城ヶ島の雨、ふるさと、荒城の月)

7/4 (土) 15:00
小菅優 (ピアノ) & 石坂団十郎 (チェロ) デュオ・リサイタル
10/3 (土) 15:00 に延期
※出演者、曲目に変更はありません。

曲目
F.ショパン：ノクターン第17番 ロ長調 op.62-1
ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調 op.58
チェロ・ソナタ ト短調 op.65

9/5 (土) 18:00
ディオティマ弦楽四重奏団

中止

曲目
A.ベルク：弦楽四重奏曲 op.3
L.シュトラウス：2020年度静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 op.131

また、今後もコンサートや講演会、講座等を中止または延期、あるいは内容を変更する場合があります。その際はホームページ、Facebookでお知らせいたします。どうぞご了承ください。

「AOIのオープン・デイ2020」について

7月18日(土)に予定しておりました「AOIのオープン・デイ2020」は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、内容を大幅に変更し、「パイプオルガン、やってるよ♪」のネット配信(無観客開催)のみとさせていただきますこととなりました。
公演を楽しみにされていたお客様には心よりお詫び申し上げます。事情をご賢察の上、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
「パイプオルガン、やってるよ♪」につきましては、録画したものを期間限定でネット配信する予定です。
配信期間など詳細は決まりましたらホームページ、Facebook等でお知らせいたします。

チケット販売について

新型コロナウイルス感染症の影響により、当面の間、すべてのチケット販売を見合わせさせていただきます。再開日が決まりましたら、当館ホームページ、Facebookでお知らせいたします。
お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解の上、ご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご寄附のお願い

静岡市文化振興財団が目指す魅力ある静岡文化の創造について、ご関心のある市民の皆さま、法人・団体の皆さまからの寄附金の受付を行っています。

静岡市のさらなる文化振興の発展のため、有益な事業を展開するための運営費となります。当財団に寄附をしていただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。

寄附をお考えの方、寄附制度について詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください。下記までお電話でお問合せください。



〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1
アーバンネット静岡ビル4階
TEL.054-255-4746 FAX.054-653-3501
HP : <https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/>
e-mail : office@scpf.shizuoka-city.or.jp

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ
お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2020年度をもって退会をご希望のかたは、2021年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員 (2020年5月末現在) 50名

●(株)アオイテック ●(株)タミヤ
●(株)SBSプロモーション ●(株)戸田書店
●(株)ジェリアル東海ホテルズ ●(株)メディア・ミックス静岡
ホテルアソシア静岡

コンサートシリーズ2020-21
主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団
特別協賛 静岡信用金庫
協賛 アイワグループ studio FORUM
ANSHINDO

助成 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

託児サービス
要事前予約(1週間前まで) 託児料：1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail : swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

至 浜松

至 東京

静岡市美術館

●松坂屋

●ホテルアソシア静岡

●ホテルセンチュリー静岡

至 浜松

至 東京

駐輪場(有料)

●バリエジェ JRF静岡駅

静岡科学館る・く・る

※当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館 AOI

月曜日休館 (ただし祝日開館、翌平日休館) 9:00～21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
お問合せ 054-251-2200

検索

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
JUN. 2020 No.98

夏号

対談 平野昭 × 野平一郎

音楽評論家

静岡音楽館AOI芸術監督

ベートーヴェン
遥かなる恋人に寄す

静岡の名手たち によるコンサート

第10回 アマチュア・アンサンブルの日♪

オルガン¥500コンサート

第15期「ピアニストのためのアンサンブル講座」受講生決定!



対談 平野昭

音楽評論家

野平一郎

静岡音楽館AOI芸術監督

今年(2020年)、生誕250年を迎えた楽聖ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンについて、日本におけるベートーヴェン研究者として名高い音楽評論家の平野昭氏と、作曲家、ピアニストとして活躍する当館芸術監督の野平一郎のお二人に、ベートーヴェンについて大いに語ってもらいました。

野平：静岡音楽館AOIでは今年、ベートーヴェンのあらゆるジャンルの曲を紹介していきます。まずは交響曲ですが、昨年から交響曲全9曲を3年かけて毎回違うオーケストラを呼んで紹介していく全5回シリーズのコンサートを開催中です。

平野：それはいいですね。

野平：それから、毎年開催しているAOI・レジデンス・クワルテット(以下レジデンスという)では、弦楽四重奏曲から第12番、13番(大フーガ付)、15番を11月に演奏します。レジデンスはこの約10年間、続けてベートーヴェンの弦楽四重奏曲を取り上げてきました。“ラズモフスキー・セット(第7番～第9番)”から始まり、作品18の6曲のうちの5曲(第1番～第5番)もやってきていて、その延長線上にある演奏会と言えます。また10月の「ベートーヴェン 遥かなる恋人に寄す」公演では、ベートーヴェンの恋文と遺書の朗読を俳優の長谷川初範さんをお願いし、《クロイツェル・ソナタ》や《遥かなる恋人に寄す》、《ピアノと管楽のための五重奏曲》、《月光ソナタ》といった名曲とともに聴いていただくコンサートも開催いたします。

平野：ベートーヴェンの交響曲全集は、今年2月、シリーズ2回目を新日本フィルで、5月の第3回目が日本フィル、10月の第4回目が名古屋フィルで開催されるのですね。AOIのホー

ルは一般に室内楽ホールというイメージですが、オーケストラが聴けるというのはすごいいと思います。普段からオーケストラの演奏会は企画されてきたのですか？

野平：概ね年1、2回のペースで開催しています。そこでオーケストラの名曲を聴いていただき、静岡の聴衆に対してレパートリーを増やしていければと考えています。これ以外にも実はピアノ・トリオ全曲を昨年度(2019年度)の「ピアニストのためのアンサンブル講座」で取り上げ、若いピアニストたちに受講曲として演奏してもらいました。普段演奏される機会の少ない作品1や作品70を含めた形での開催でした。また今年度(2020年度)は、ヴァイオリン・ソナタとチェロ・ソナタだけを取り上げて実施することになっています。ベートーヴェンの作品は何をやっても勉強になるし、演奏される機会の少ない作品でも、ひとつひとつを詳しく見ていくことが必要な作曲家だと思います。

平野：われわれは、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの3人を一括りで名前を挙げる人が多いですが、ベートーヴェンだけはちょっと趣が違います。作品の作り方が、ハイドンやモーツァルトは様式が古典主義なのだと思いますが、ベートーヴェンは交響曲だけではなく様々なジャンルで変革を試みていますね。作品1の3曲のピアノ・トリオも作品2の3曲のピアノ・ソナタも全て4楽章で書かれています。ハイドンとモーツァルトを尊敬はしていてそこから出発したのだと思いますが、当時4楽章形式は交響曲や弦楽四重奏曲にしか使いませんでしたので、まさに革新家ということが言えるかと思います。

野平：最後の弦楽四重奏曲を書いていたのは55、6歳だったかと思いますが、私自身の体験からいうとその歳まで革新的、前衛的でいられるというのはかなり大変ですすごいことだと思います。現在でも、ベートーヴェンは西洋音楽のレパートリーの中では中心的な存在ですね。例えば、「演奏史」ということを考えると、演奏のスタイルの変遷はベートーヴェン解釈において、とても重要な点だと思います。「ピアノ・ソナタ」もそうだし、「交響曲」も。新しい演奏スタイルがどんどん出てきていますので、そういう意味でも今年、生誕250年を機会にベートーヴェンの作品をさらに演奏していく意味があるのかなと思っています。演奏家たちに新たなベートーヴェン像みたいなものを見つけていただけるといいかなと思います。

平野：そういう意味では、秋の「ベートーヴェン 遥かなる恋人に寄す」公演でのプログラムは魅力的ですね。《月光ソナタ》があって、連作歌曲《遥かなる恋人に寄す》があって《アデライーデ》があって、それに《ピアノと管楽のための五重奏曲》があって。

野平：その中に「ハイリゲンシュタットの遺書」と「不滅の恋人への手紙」の朗読を入れていて、双方が呼応したもので構成しています。

平野：「ハイリゲンシュタットの遺書」を書いた次の年に《クロイツェル》が書かれ、《月光》も1801年に耳が悪くなったな

かで書かれています。そして「不滅の恋人」との別れがあったあとに《遥かなる恋人に寄す》が書かれています。一人の人間としてのベートーヴェンへの思いが膨らみますね。

野平：ベートーヴェンというと、「楽聖」なるイメージがありますが、この「不滅の恋人への手紙」は本当にわれわれのような、ごく普通の人が求愛するような内容ですね。

平野：しかも高校生か大学生が書いたような感じですよ。実際これを書いたのは42歳頃でしたから。でもぼくは男としてわかるような気がします。幾つになっても同じですよ。端から見ると「この年寄り」ということになるのですが、自分自身のことで考えるとベートーヴェンも後世この手紙が他人に見られるなんて考えもしなかったでしょうし。そういう気持ちがあったということは面白いですね。

野平：最後の最後まで純粋で気持ちが若かったですよ。そんなベートーヴェンの私的な一面も、作品を聴いていただく傍らで判ってもらえればと思う気持ちがあります。ところで、ベートーヴェンがサリエリに習っていたのも「ハイリゲンシュタットの遺書」の頃でしょうか？

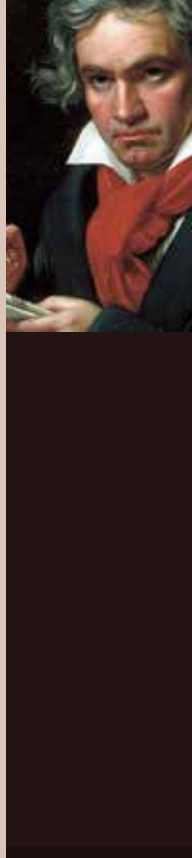
平野：1798年に作曲されたヴァイオリン・ソナタがサリエリに献呈されたからだと思いますが、実はその当時師事はしていません。師事していたのは1801年から02年にかけてで、なぜかというところこのころにメタスタジオのイタリア語の詩によるシェーナとアリアや二重唱が作曲されています。このころベートーヴェンはオペラ創作を考えていて、イタリア語への曲の付け方を習っていたようです。

野平：当時作曲家にとってはイタリア語によるオペラが書けることは必須の、メチエの一部でしたからね。

平野：そうです。1801、02年にデ・ガメツラのイタリア語のテキストによる三重唱《おののけ、背徳者よ》が作曲されていますが、これなど聴きますと、そのままいったらイタリア歌劇が書けるんじゃないか、と思わせるような素晴らしい曲ですね。モーツァルトの3大歌劇も全てイタリア語でし、ベートーヴェンも一時期はイタリア語のオペラを書こうと思っていました。

野平：そうすると1801～02年はベートーヴェンにとって随分いろいろなことがあったのですね。

平野：ベートーヴェン30歳、31歳のときです。交響曲第1番と第2番が1801～02年に、バレエ音楽《プロメテウスの創造物》も1801年に書かれたものです。1802年10月の「ハイリゲンシュタットの遺書」から半年経つか経たないかの1803年3月には《橄欖山の上のイエス・キリスト》という素晴らしいオラトリオを作曲しています。題材はまさにイエスの受難曲前夜の話で、受難曲に近い作品を書いています。テキストの中に受難曲として不可欠な聖書の部分が入っていないためか作品として過小評価されていますが、とても素晴



らしい作品です。1801年の交響曲第1番から、1805年のオペラ《フィデリオ》までの間に、交響曲が3曲とバレエ音楽と、オラトリオとオペラが書かれていますので、「作曲家」ベートーヴェンはこの5年間で形作られてと言えるでしょう。

野平：この時期には、ピアノ・ソナタの見直しもしていますね。

平野：《葬送行進曲》がそうですね。もともと第1楽章はソナタ形式ではありませんでした。14番の《月光》もそうです。

野平：モーツァルトやハイドンからの伝統とは完璧に切れ、ベートーヴェンが独り立ちした時期となるのですね。

平野：そうですね。《月光》だけだとまだ「ファンタジー」という考え方からすると似たような作品がありますが、作品30の《テンペスト》までいくとその後、ヴァイオリン・ソナタも3曲書きし、ピアノソナタも3曲書いている、いずれも1802年から1803年にかけての時期ですね。だからこの1、2年はすごいですね。

話は尽きませんが、ベートーヴェンについての興味深いお話をたくさん語っていただきました。生誕250年の記念の年に皆様が様々な「ベートーヴェン作品」をお楽しみいただけるよう、AOI職員一同、皆様のご来館をお待ちしております。

(2020年1月 東京都内において)

ベートーヴェン 遥かなる恋人に寄す 10/17^土

18:00 開演 (17:00 開場)
全指定 ¥4,000
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)

出演
清水和音(ピアノ)、堀正文(ヴァイオリン)
加未徹(バリトン)、荒絵理子(オーボエ)
野田祐介(クラリネット)、岡本正之(ファゴット)
福川伸陽(ホルン)、長谷川初範(朗読)

曲目
L.v.ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番《月光》 変ハ短調 op.27-2
[朗読]「ハイリゲンシュタットの遺書」
ヴァイオリン・ソナタ第9番《クロイツェル》イ長調 op.47
歌曲集《遥かなる恋人に寄す》op.98
アダレーデ op.46
[朗読]「不滅の恋人への手紙」
ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 op.16

オーケストラを聴こう

ベートーヴェン 交響曲全集Ⅳ 10/31^土

15:00 開演 (14:00 開場)
全指定 ¥6,000
(静岡音楽館倶楽部会員¥5,400)

出演
沼尻竜典(指揮)
名古屋フィルハーモニー交響楽団

曲目
L.v.ベートーヴェン：序曲《コリオラン》op.62
交響曲第8番 へ長調 op.93
第5番《運命》ハ短調 op.67

AOI Residence Quartet

AOI・レジデンス・クワルテット

11/14^土

15:00 開演 (14:00 開場)
※18:00 終演予定
全指定 ¥3,500
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

曲目
L.v.ベートーヴェン：
弦楽四重奏曲第12番 変ホ長調 op.127
第15番 イ短調 op.132
第13番 変ロ長調 op.130 (大フーガ op.133 付)

オーケストラを聴こう

ベートーヴェン 交響曲全集Ⅲ 2021 1/17^日

15:00 開演 (14:00 開場)
全指定 ¥7,000
(静岡音楽館倶楽部会員¥6,300)

出演
沼尻竜典(指揮)、徳永二男(ヴァイオリン)、
日本フィルハーモニー交響楽団

※当初5/23公演に出演を予定していた三浦文彰氏(ヴァイオリン)に代わり、
徳永二男氏が出演いたします。

曲目
L.v.ベートーヴェン：ロマンズ第1番 ト長調 op.40
第2番 へ長調 op.50
交響曲 第4番 変ロ長調 op.60
第7番 イ長調 op.92



22歳以下
¥1,000

静岡の名手たち によるコンサート

9/26^土

18:00 開演 (17:00 開場)
全自由 ¥1,800
(静岡音楽館倶楽部会員 ¥1,620)

22歳以下
¥1,000



出演
青島由佳(フルート・トラヴェルソ)、戸崎廣乃(チェンバロ)

曲目
J.S.バッハ：フルートとチェンバロのためのソナタ
第2番 変ホ長調 BWV1031 より 第2楽章 シチリアーノ
第1番 ロ短調 BWV1030



出演
矢邊新太郎(サクソフォン)、星野めぐみ(ピアノ)

曲目
A.ブライアー：口笛吹きと犬
E.モリコーネ：ガブリエルのオーボエ(映画「ミッション」より)
C.ドビュッシー：チェロ・ソナタ



出演
岩田恵子(トランペット)、
望月秀剛(トロンボーン)、
諸星智美(ピアノ)

曲目
E.ボザ：バドゥナジ(冗談)
C.M.v.ウェーバー：ロマンス
J.トゥリン：ファンダンゴ ほか
福田洋介：さくらのうた



出演
岡本実佳(ソプラノ)、伊藤絢(ピアノ)

曲目
R.レオンカヴァッロ：朝の歌
G.ヴェルディ：歌劇《運命の力》より《天使のなかの聖処女》
〈神よ平和を与えたまえ〉



beyond
2020

静岡 室内楽フェスティバル2020

2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団

BEEHOVEN



DeCies



ムジカブリューム



kimie & maco

第9回アマチュア・アンサンブルの日♪(2019.11.23) 撮影:日置真光

2011年度より開催している

「アマチュア・アンサンブルの日♪」。

いよいよ10回目を迎えることとなりました。

このたび、参加団体20組が決定しました。

皆さまのご来場をお待ちしています。

静岡  室内楽フェスティバル2020

 2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団



第10回

アマチュア・アンサンブルの日♪

11/23(月・祝)

12:00 開演(11:30 開場)※18:00 終演予定

無料(申込不要)

出演

第1部 12:00 開演

DeCies(でしーず)(チェロ四重奏)

アニコ・グランデ(ギター二重奏)

kimie & maco(フルート、ピアノ)

Le Duc(ル・デューク)(ヴァイオリン、ピアノ)

Trio Pont de Cerisier(トリオ・ボン・デ・セリジエ)(サクソフォン、フルート、ピアノ)

Ensemble Ferny(アンサンブル ファーニイ)(リコーダー、弦楽五重奏、チェンバロ)

ムジカブリューム(弦楽合奏)

第2部 14:15 開演(予定)

amici(ピアノ、うた、サクソフォン、打楽器)

ロコ・ボール・ムジカ(フルート・アンサンブル)

Saxophone Ensemble PICO(サクソフォン アンサンブル ピコ)(サクソフォン五重奏)

ReBorn(リボン)(リコーダー・アンサンブル)

フレンズ(マンドリン・ギター・アンサンブル)

ギターアンサンブル サウンド・オブ・ドリーム

第3部 16:00 開演(予定)

ミチコとヨーコ(フルート二重奏)

アンサンブル・ヴァン・ルージュ(フルート、弦楽三重奏)

アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)

ブラス・アンダンテ静岡(金管五重奏)

Brass Ensemble La Mer(ブラス アンサンブル ラメール)(金管五重奏)

静岡県トロンボーン協会(トロンボーン八重奏)

志太室内楽団(木管アンサンブル)

オルガン¥500コンサート

AOIが誇るパイプオルガンの調べを500円で体感できるコンサート。
毎回完売必至の人気コンサートです。

静岡音楽館AOI
25th
ANNIVERSARY
Music
for
Hearts

夏休みコンサート

荒井牧子

8/20(木)11:30開演(10:30開場)※12:30終演予定

※3歳児からご入場いただけます(チケットが必要です)。(託児サービスあり。)

※演奏中、静かにご鑑賞いただけなくなった場合は、一旦ご退席くださいますようお願いいたします。



出演
荒井牧子(オルガン)

曲目

L.ボエルマン：《ゴシック組曲》op.25より《ゴシック風メヌエット》

J.S.バッハ：G線上のアリア(BWV1068-2)

R.シュトラウス：《ツァラトゥストラはかく語りき》より《導入部》

ディズニー・メドレー

J.K.ケルル：かっこうによるカプリッチョ

P.I.チャイコフスキー：バレエ音楽《くるみ割り人形》op.71aより《花のワルツ》

久石譲：さんぽ(映画「となりのトトロ」より)

J.S.バッハ：《トッカータとフーガ》ニ短調 BWV565 より《トッカータ》

フーガ ト短調 BWV578

E.サティ：ジムノペディ第1番

M.デュリュフレ：ソワソン大聖堂の鐘のテーマによるフーガ op.12



出演

水野均(オルガン)
長瀬正典(サクソフォン)

曲目

L.C.ダカン：グラン・ジュとデュオによるノエル

R.ジャソット：アルピノーニのアダージョ ト短調

J.S.バッハ：神のひとり子なる主キリスト BWV601

イエス・キリストよ、賛美をうけたまえ BWV604

甘き喜びのうちに BWV608

高き天よりわれは来たり BWV606

E.ボザ：アリア

C.フランク：前奏曲、フーガと変奏 ロ短調

E.モリコーネ：ガブリエルのオーボエ

クリスマス・キャロル ジャズ風クリスマス(水野均 編)



水野均(オルガン)



長瀬正典(サクソフォン)

いずれも全自由¥500

セット券(2公演を一緒に購入)¥900

※静岡音楽館倶楽部会員割引はありません。

※このコンサートは休憩がありません。

第15期

「ピアニストのための アンサンブル講座」 受講生決定!

第15期を迎えた「ピアニストのためのアンサンブル講座」。

今期の受講生5名が決定しました。

7/8(水)～2/7(日)の修了記念コンサートまで、3名の講師の
指導のもと、全10回の講座を行います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当面のあいだ無観客で開催いたしま
す。無観客で開催させていただく回のレッスンの様子は、当館公式YouTubeに
てご覧いただけるよう準備を進めております。



五十嵐里佳



岩元理紗



黒澤優芽



安成紅音



山本明日香

日程／

2020 ①7/8(水)、②9(木)、③8/4(火)、④5(水)、⑤10/21(水)、
⑥22(木)、⑦12/16(水)、⑧17(木)、2021 ⑨2/6(土)、⑩7(日)

内容／

〈奇数回〉13:30～19:30 実技レッスン

〈偶数回〉10:00～19:30 アナリーゼ
講義～奏者の視点から～②④
ピアノをめぐる音響を考える⑥⑧
実技レッスン

①②はヴァイオリン、③④はチェロ、⑤⑥⑦⑧は三重奏、
⑨はすべて、⑩は修了記念コンサートを開催予定。

講師／野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)、
漆原啓子(ヴァイオリン奏者)、向山佳絵子(チェロ奏者)、
倉田尚彦(株式会社松尾楽器商会 調律師)*⑥⑧講義講師